

## 柔整業界 制度はこう変わる

厚生労働省社会保障審議会医療保険部会の柔道整復療養費検討専門委員会が議論されてきた大幅な制度改正は、3月21日(火)の第11回をもって一応の終局を迎えた。昨秋に骨子が固まった学制改革に加え、柔整審査会権限や施術管理者要件の強化などの実施が新たに決まり、今回の改正が事実上具体的に動き始めることになった。

おもな変更点は以下のとおり。

### 1. 学制改革

#### ①カリキュラムの改正 [平成 30 年度~]

- ◆ 総単位数の引上げ (85 単位以上→99 単位以上) と最低履修時間数の引上げ (2,480 時間→2,750 時間以上)
- ◆ 社会保障制度、職業倫理・高齢者の外傷予防等に関する授業の導入
- ◆ 臨床実習の単位数の引上げ (1 単位→4 単位) と学外実習の義務化

#### ②専任教員増員 (5 名以上→6 名以上) と資格要件の強化 (実務経験 3 年以上→5 年以上に) [平成 30 年度~]

#### ③国家試験必修問題の変更 (30 問→50 問) [平成 32 年度卒業生~]

### 2. 柔整審査会の権限強化 [平成 29 年度~]

### 3. 施術管理者の要件強化 [平成 32 年度卒業生~]

- ◆ 受領委任払い取扱いに関する卒業臨床研修 (3 年間) の導入

\*\*\*\*\*

柔整審査会の権限強化については詳細をさらに検討し、平成 29 年度から環境が整い次第実施していく。また学外実習では、学生を受け入れる施術管理者は 16 時間以上の指導者講習会を受講しなければならない。

今回のダイナミックな改革は、柔道整復師の資質向上、業界の浄化と信頼回復という積年の課題を克服するものとなるだろう。しかし会員が組織の上層部だけに任せて傍観しては実効性が失われ、逆に業界の信頼も失墜することになる。すべての会員の積極的な支援・協力が必要不可欠である。

## 女性会員3名初参加でケアに配慮

名古屋ウィメンズマラソン 2017 救護・ケア



3月12日(日)、「名古屋ウィメンズマラソン 2017」が開催された。今年も主催者の中日新聞社からの要請で、本会会員ら 19 名 (学生 6 名を含む) が、午前 10 時から午後 5 時過ぎまで、スタート・ゴール会場であるナゴヤドームに隣接する名古屋市東スポーツセンター2階の会場にて、140 名のランナーに対してケア活動を行った。この活動は去年、「名古屋シティマラソン」ハーフの部から「名古屋ウィメンズマラソン」に移行し 2 年目になる。今年で 6 回目を数えるこの大会は、去年よりも 250 名多い 19,857 人が出走し、世界最大の女子マラソン大会として今年もギネス世界記録を更新している。

会員ら 19 名は、午前 10 時に現地集合し資材を搬入し準備を開始。午前 11 時、森川会長が長時間に及ぶ参加会員らの協力に謝意を述べた。

午後 0 時 52 分から男性ランニングドクターを始め、ランナーとして参加した石田真由美会員 (鶴舞) も含め、去年より 8 名多い 140 名に、柔整手技、ストレッチング、アイシング、テーピング等を施行した。

今回初めて 3 名の女性会員が参加し、女子学生も 4 名から 6 名へ増員された。女性ランナーに対するテーピング貼付時など、女性の大会への配慮という点で女性スタッフの存在は大きかった。また主催者側スタッフに活動場所までランナーを誘導してもらえ充実した活動ができた。

#### 【活動参加者】

- 【役員・部員】 森川会長、藤川副会長、小林事業部長、河合・井上両事業部員
- 【女性会員】 山本カヨ子 (半田)・山本もとみ (半田)・片田江里香 (鶴舞)
- 【その他会員】 石川 真会員 (半田)・小野文行 (笠寺)・押谷昌之 (大曾根)・安達忠弘会員 (大曾根)・横井達典 (大曾根)
- 【女子学生】 名古屋リゾート&スポーツ専門学校から 6 名

## Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
小田原涼太	S57.6.21	一宮	中和医療	—	ビリヤード
寺田典弘	S50.10.18	笠寺	さいたま柔整	四段	柔道
永井裕之	S57.11.24	豊橋	米田柔整	初段	空手



←小田原涼太会員



←寺田典弘会員



永井裕之会員

## 花一輪に破顔一笑

—佐久間稔晴先生  
旭日双光章受賞祝賀会—



3月5日(日)正午より、本会前会長であり顧問である佐久間稔晴先生の「旭日双光章受賞祝賀会」がウェスティン

ナゴヤキャッスル天守の間で盛大に執り行われた。

先生は 28 年度秋の叙勲で旭日双光章を受章し、11 月 4 日の愛知県庁で行なわれた大村秀章知事からの叙勲伝達式に出席。11 月 11 日の皇居における叙勲者拝謁式では天皇陛下に直接拝謁する栄誉に浴した。

祝賀会は半田支部が竹内 康発起人兼実行委員長を中心に企画・準備・運営を主導し、愛知県柔道整復師会が助言・協力する形で行なわれた。森川会長が発起人の一人に名を連ねて佐久間先生の経歴紹介を行ない、藤川副会長が開会の辞と記念品贈呈を、長谷川副会長が閉会の辞を述べた。発起人代表を、佐久間先生と昵懇の仲である衆議院議員の伊藤忠彦環境兼内閣府副大臣が務め、大村県知事や藤川政人自民党愛知県連会長、丹羽秀樹厚生労働委員長など政界をはじめ、県医師会、日整役員、本会全役員 13 人など、総勢 254 人がお祝いに駆け付けた。

祝宴のあいだ佐久間先生は奥様とともに各テーブルを回って、参加者と握手を交わし、時には肩を叩き合いながら祝意に応えた。

花束贈呈では山本カヨ子会員から奥様に大きな花束が贈られたが、先生にはお孫さん 3 人から一輪の花のみが胸ポケットに飾られた。この演出に先生は破顔一笑。とても優しいお爺ちゃんのお顔を見せた。

2時30分、横井利明名古屋市長議員の万歳三唱によりお開きとなった。あたらめて佐久間先生、受章おめでとうございます。



## 平成28年度

### 講師派遣事業終了

開催日	開催地	聴講者
10.18	一宮市	28 名
11.7	常滑市	31 名
11.15	清須市	28 名
1.12	西尾市	30 名

日本福祉大学社会福祉総合研修センターからの依頼で実施している平成 28 年度の講師派遣事業が終了した。「腰痛予防教室」4 件 (聴講者 117 名)、『転倒からの復活』が 8 件 (聴講者 191 名) であった。

開催日	開催地	聴講者
7.2	知立市	25 名
10.27	西尾市	12 名
10.27	春日井	19 名
11.1	碧南市	24 名
11.18	安城市	40 名
11.22	武豊町	19 名
11.29	設楽町	30 名
3.1	安城市	22 名

### 転倒からの復活